

[129]語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/4402931>

出版情報：語文研究. 129, 2020-06-25. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

学会彙報

▼令和元年度 学位論文題目

学部

百川堂灌河の研究——心学との関わりを通じて

大倉都乃

杉浦国頭の学問について——和歌関連著作を中心に——

大庭美結

『伽婢子』論——女性の翻案と教訓的要素について——

平尾怜奈

都の錦研究——「元禄大平記」の剽窃を中心に——

松本紗菜子

宝暦期談義本の研究——伊藤单朴を中心に——

守谷奈々

弁惑物の研究——考証随筆との比較を中心に——

和田悠太郎

歴史的観点から見た「オノマトペ+する」

浅山凌

打消表現を伴う副詞の変遷——「さらに」を中心に——

榎本拓海

副詞「一向」の史的変遷について

倉岡幸佑

風流人呼称の語彙史的研究

田代稜

時間副詞の意味・用法について——接頭語的用法を中心に——

藤岡俊太郎

有对他動詞の史的展開——自動詞セル形との関わりを中心に——

吉田香葉子

意味に応じた漢字表記使い分けの変遷について——動詞「ハカル」の場合——

吉永百花

葛西善蔵「私小説」研究——その特徴と形成——

桑崎なつ美

『平家物語』における主従関係について——「一所で死なん」を中心に——

久保文恵

平安文学における「子ども」観

前田明香里

修士

『バレット写本』における翻訳語についての考察

高須芳之介

日本語における「該」「当該／該当」の歴史的変遷

劉泓涵

博士

佐世保市宇久町平方言の記述的研究

門屋飛央

近世中期の思想と文学——天文曆学・本草学との関わりから——

吉田 宰

享和・文化初期読本の基礎的研究（西日本近世小説研究会編）

菱岡憲司

▼受贈図書（二〇一九年十月～二〇二〇年三月）

注釈・考証・読解の方法——国語国文学的思考

白石良夫

——私たちはこう読んだ——文和千句・第五百韻 賦片何連歌・

解釈篇

連理会

九大日文 第34号（九州大学日本語文学会）

九州大学大学院比較社会文化研究院

国立公文書館内閣文庫『林家書目』漢籍対照表並書誌（高山

節也編）

川平敏文

肥前鍋島藩諸文庫漢籍総合目録（高山節也編）

川平敏文

近現代日本語の「誤用」と言語規範意識の研究

新野直哉

竹幽文庫の香道伝書 香道調度図・香道籬之菊（矢野環・岩

坪健・福田智子著）

福田智子

伊勢商人の文化的ネットワークの研究——石水博物館所蔵書

簡資料をもとに——（研究代表者 青山英正）

菱岡憲司